

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	すたありっと1st 東住吉		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 27日		～ 令和 8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 27日		～ 令和 8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・はじまりの会やプログラムを通じ自身の気持ちや思いを言葉で伝えたり、自己紹介をする機会がある。	・様々な言葉を知ることができるように、プログラムに言葉のカードや視覚支援を用いて、自己発信をしやすい環境設定を図っている。 ・自己紹介等で、初めての方とも自らコミュニケーションを取ることができるよう支援をしている。	・発表の際、助詞を使って文章として発表ができるように支援を行う。 ・自身の気持ちを発言出来るよう支援している。
2	・クッキングや身のまわりの事を自身で行うよう支援を実施し、ライフスキルを知り、自身で出来る事を増やせる機会がある。	・クッキングや買い物訓練などを通し、ライフスキルを身に付けられるように支援している。 ・自己の身のまわりの事を自身で出来るよう支援している。	・電車訓練を多く取り入れ様々な施設に行き公共のマナーを知らせていく。 ・クッキングを通し、他児との協力や苦手な食べ物にも挑戦ができるように支援をしている。
3	・商店街の中にあるので、地域の方とコミュニケーションを取り、挨拶をする機会が多くある。	・散歩の際、「行ってきます。」「ただいま。」等挨拶をしコミュニケーションを取っている。 ・ボランティアの方が絵本の読み聞かせに来てくれている。	・避難訓練や防犯訓練など地域の方と協力して出来る様、事前に声掛けを行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育園や幼稚園のように園庭がないため、外遊びをする為に近くの公園に移動する必要がある。	・商店街の中にある事業所の為。	・土曜日のイベントに公園遊びを入れているため、今後も公園遊びや外出のイベントを実施する。 ・商店街内を散歩することで、交通ルール(左右の確認、自転車や歩行者に気を付ける)を伝えている。
2	・子どもたちの遊びの要求に年齢差や月齢差が見られる	・2歳～6歳までの縦割り療育のため	・遊びの工夫を支援者が知らせていくことで遊びの幅を増やしていく ・年齢に分けて、それぞれ発達に合ったプログラムを行い支援を行う。
3			

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	すたありっと1st 東住吉
------	---------------

公表日 令和 8 年 2 月 28 日

利用児童数 30 回収数 26

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	3			・人数によってだが、部屋のスペースや遊びのコーナーに分ける部屋等少し狭いと感じる。 ・日によって参加人数に対して、少し手狭に感じた。	・人数によって、部屋を分散して支援を行っている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1		2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26				・言語プログラムや他にも新たな支援を提案して頂いたり子どもの為に役立っていると思う。	・今後も引き続き行います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25			1	・せっかくよく子どもの事を見てくれているのに、フィードバックの機会が少ない。 ・本人が無理なく達成できる目標が掲げられている。	・モニタリングを通し、様子をお伝えしている。また、保護者様のニーズを聞き取り個別支援計画を作成している。今後、フィードバックの機会をモニタリングだけでなく、送迎や連絡帳でも行っていきたい。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25			1	・月に1度程、子供の様子をまとめた紙にサインを求められるが良い内容のためじっくり読みたい。	・送迎の際に、保護者の方に目を通してもらうように声を掛けていますが、忙しい日もあるので最後まで目を通してもらえる様に、声掛けを行う。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25			1	・本人が無理なく達成できる目標が掲げられている。	・今後も保護者様と情報を共有していき目標を掲げていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1			・毎月プログラム予定表が買えて工夫されていると思う。 ・毎日のプログラムはバラエティーに富んだ内容の為、固定日に利用しても様々なトレーニングを受ける事ができる。	・引き続き行っていきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	3	1	12	・あるかも知れないが少ないと思う。 ・利用し始めた為、不明。	・公園遊びなどで地域の方との交流を少し行っているが、幼稚園や保育園との交流は少ないので、機会を作る。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26				・1つ1つ確認しながら説明して頂きました。	・引き続き行っていきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	3	2	7	・あるかも知れないが少ないと思う。 ・研修会等があればぜひ参加したいです。	・研修会などの情報を提供できるように行う。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26				・しっかりやって頂いているが、連絡帳のシステムが簡素。オンラインのHUGなど希望したい。 ・送迎時にその日の様子を伝えて頂けて連絡帳もあるので、ありがたいです。写真もあるともっと嬉しいです。 ・利用日のお迎え時に、その日の様子を伺えるので、ありがたいです。	・連絡帳でプログラムの様子を記入し、送迎の際様子をお伝えしている。 ・写真はイベントの写真をまとめて室内に掲示しております。 ・引き続き様子を伝えます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	1	2	・こちらから希望しないとないと思う。 ・利用し始めた為、不明。	・お困り事が有れば、いつでもご相談承っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	5	3	10	・保護者同士の交流の場がないので、あれば嬉しいと思う。参加してみたい。 ・あるかも知れないが少ないと思う。 ・利用し始めた為、不明。	・保護者参加のイベントをプログラムに取り入れ、保護者様同士の交流が持てるようにします。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25			1	・園の先生や保護者からの園の訪問依頼にもすぐに対応して頂きました。継続してお願いしたいです。	・今後も引き続き行います。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26				・迎えの時にスタッフさんより子どもの様子を伝えて頂いています。 ・連絡帳、お迎え時、ラインなど情報共有を丁寧にして頂けてありがたいです。	・今後も引き続き行います。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	4		7	・連絡帳の内容以上によく見て頂いているんだろうなと、職員の方々の能力も熱意も感じるので、その様子を保護者に開示するシステムがありません。 ・活動の様子の写真が見られたらより安心できる。	・送迎の際に職員が取り組んでいる支援内容をお伝えできるようにします。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			1			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24			2	・初回契約時に説明がありました。	・引き続き行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23			3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	1			・明日、すたぁりつとある？と楽しみにしています。(あるよと答えるとヤッター！と喜びます。) ・職員の方々やお友達のお名前を覚えてくれたり、その日のプログラムを話してくれるので、安心して通えていると思います。	・今後も安心して通所していただけるようにしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	1	1	1	・早く行きたいなぁとよく言っています。 ・通所にもすっかり慣れて来て、「今日も楽しかった！」などと報告してくれます。 ・休みの日でも「今日、行くの？」と聞いてきて「行かないよ」と言うと「行くー！」と言っています。	・今後も楽しみに通所していただけるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1			・きちんと状況を説明してくれて安心です。子どもの事もよく見てくれていて意見を貰えたり、満足です。 ・様々なプログラムに参加させて頂けることで、本人はもちろんのこと家族にとっても学びや気付きがあります。	・今後も引き続き行います。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名 すたぁりっと1st 東住吉

公表日 令和 8 年 2 月 28 日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		・公園遊び等で、地域の子ども達と遊具共有等、共に活動する機会がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2		・施設内玄関にイベントの様子の写真を掲示している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		・事業所行事に、地域住民を招待ではなく、外出や買い物訓練等で地域交流している。 ・散歩などでコミュニケーションをとっている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			・保護者の指示に基づき対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1			